

## ～第 20 回インカレにおける諸問題に関する報告とお詫び～

実行委員長 松澤俊行

本インカレでは、当実行委員会の責任による問題がいくつか見られました。ここで、それぞれの状況について説明するとともに、ご迷惑をおかけした参加者の皆さんにお詫び申し上げます。

### 1 リレースタート時刻の繰上げについて

当初の選手輸送計画では、第 1 便の会場到着が 8:00、最終便の到着が 8:40 であった。しかし、ある大学（以下 A 大学とする）の選手権の部出走選手を含む数人の選手の到着が 9:50 となったため、予定を 30 分繰り下げてスタートを行なうことになった。詳細な状況は以下の通りである。

A 大学のバスストップは「五浦」であった。「五浦」から乗車する選手とオフィシャルは 87 人、バスの総座席数（2 台計）は 95 席で、8 席の余裕があった。しかし、発車予定時刻は過ぎていたため、乗車誘導役員の判断により、第 1 便を 15 席の空席のまま発車させることとなり、第 2 便のバスにあぶれる選手が発生した。そこで、役員は 1、2 走の選手を優先的に第 2 便に乗車するように促したが、A 大学の選手権の部出走選手（2 走含む）は「後から来るバスで良い」とバスに乗車しなかった。バスに乗れなかった参加者を輸送するために他のバスストップからバスを回したので、「五浦」で乗り遅れた選手権の部出走選手の会場到着が大きく遅れることとなった。

トレインの場所や道路事情、宿舍の配置などの関係から、参加者の輸送に関して困難な点が非常に多かったところに、実行委員会口の各方面への連絡不徹底と選手側の認識不足の重なった結果、スタート時間の繰り下げにつながったと考えられる。

### 2 リレー一般の部における地図渡し間違い

#### 【状況】

図書館情報大学 WC チーム 3 走の地図を他チームの 3 走の選手が間違えて持っていったが、その選手は気付いてスタートに戻りスタート役員に返した。その地図は汚れていたため、スタート役員が新しい地図を袋に入れたが、MU クラスの地図であった。図書館情報大学 WC チーム 3 走の選手はその地図を持って出走し、最後まで気付かぬまま競技し完走した。

#### 【対応】

状況をチームオフィシャルに説明し、違うコースを走ったということで参考記録とさせていただいた。渡し間違いの主要な原因としては、地図取り違いが非常に多く対応に追われたことが考えられる。再発防止の対策として、地図取り違いが起きにくいような地図置場のレイアウトにする、地図を補充するスタート役員の役割分担を明確にすることが挙げら

れる。

### 3 リレー表彰の間違い

#### 【状況】

#### ①一般の部 XU クラス

表彰対象が幹旋 XC チームのところ、幹旋 XE（大阪大学）を表彰した。

#### ②一般の部 WU クラス新人特別表彰

表彰対象が東北大学 WA チームのところ、日本女子大学 WA チームを表彰した。

#### 【対応】

両チームには後日・メダルと賞状を授与した。間違いの原因は、両方とも事前準備の不足、情報伝達の方法の不徹底、およびチェックのシステムが確立していなかったことにある。再発防止の方策は、後世の実行委員会に期待したい。

ご迷惑をおかけした皆さんに再度お詫び申し上げます。

特に 1 番については、リレースタート時刻の繰り下げということで、以降のイベントスケジュール全体の遅延となり、影響が多大な範囲に及びました。

実行委員一同反省しこの経験を以後に活かすとともに、同様の問題が以後起こらないことを祈りたいと思います。